

なんさん東西通り一方通行化に向けた 提案資料

2024.3

難波千日前日本橋まちづくり協議会

1. 活動目的

- ・なんさん東西通りは先行オープンしたなんば広場、現在工事中のなんさん南北通りと接続し、日本橋エリアへと続く重要な通り。
- ・なんさん東西通りが安全・快適な歩行者空間となれば、北は道頓堀から南は日本橋までの広範囲に渡って回遊性が向上することが期待できる。



1. 活動目的

なんさん東西通り周辺の現状

なんさん東西通り周辺では下記に示すような状況が発生しており、歩行者が安全に通行できる空間になっていない。

① 歩行者空間が狭く路肩通行が常態化

- ・歩道幅が狭い上に電柱等があり歩きにくい。
- ・歩行者の路肩通行や駐輪が常態化している。



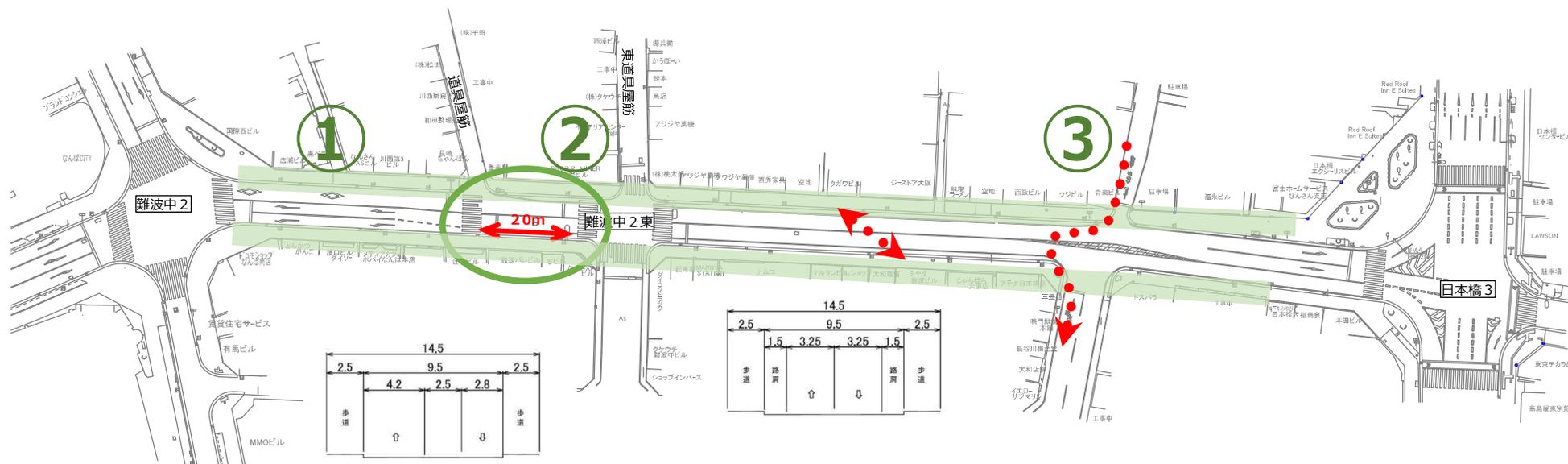
② 横断歩道が信号交差点に近く危険

- ・2つの横断歩道の距離が近く、運転者の判断ミス招いている。



③ 歩行者の乱横断が多発

- ・難波中2東交差点と日本橋3交差点は距離が比較的長いことから、信号待ち車列をぬって歩行者が乱横断している。



1. 活動目的

目指す姿

- ・安全・快適な歩行者空間の創出
- ・なんさん通り周辺エリアの回遊性向上

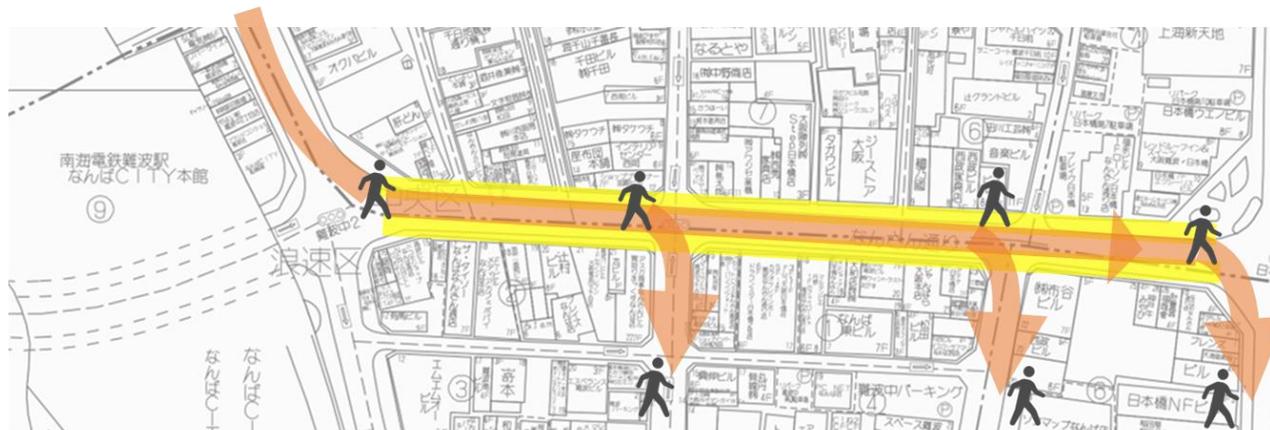
なんさん東西通りの東向き一方通行化

歩きやすい快適な空間づくり

- ・歩道の拡幅や交差点部の滞留空間の整備
- ・電柱の撤去 etc

事故のない安全な空間づくり

- ・交差点形状の改善やコンパクト化
- ・信号サイクルや横断歩道設置間隔の見直し etc



2. 活動経緯 ②勉強会開催

勉強会開催 -協議会構成員を対象とした影響把握-

- ・協議会構成員（なんさん通り東西沿道地権者・1階テナント、自治会、商店街）を対象とした勉強会を開催し、一方通行化に伴う具体的な課題・影響について把握。
- ・特に影響が大きいと想定されるエリアの地権者に対しては、個別説明を実施。

— 勉強会実施の様子 —

7/18	商店会勉強会 協議会範囲の商店会対象
7/24	日本橋連合振興町会長会議 日本橋連合振興町会対象
8/31	町会全体勉強会 協議会範囲の全町会・商店会対象



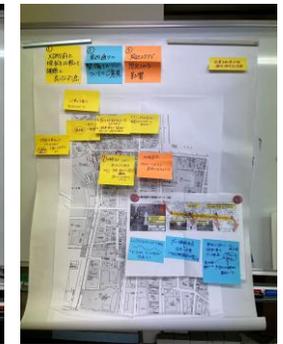
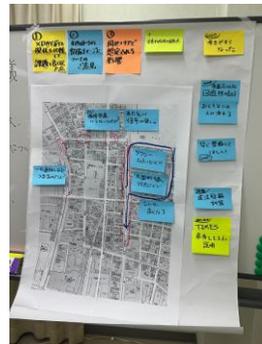
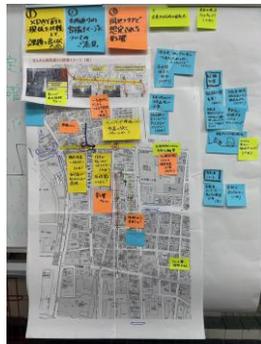
7/18商店会勉強会



7/24日本橋連合振興町会長会議



8/31町会全体勉強会



各会議での意見出し結果

2. 活動経緯 ②勉強会開催

勉強会意見まとめ

①道具屋筋横断歩道

- 東道具屋筋の横断歩道との距離が近く運転者の判断ミス
を招いている(警察による指摘)
- △ 横断歩道をなくしても乱横断が発生する
- 荷捌き用の台車が南北を行き来する需要もある
- 横断歩道は残してほしい(東道具屋筋から道具屋筋まで
一体の交差点 & 広い横断歩道にする)

②東道具屋筋交差点

- 歩道から人が溢れている
- 信号が短く車が詰まる
- 歩行者と車が交錯して危険
- 東道具屋筋が北から南に向かう車で混雑する
- 検証しスムーズに人・車がはけるようにしてほしい。

③オタロード交差点

- 歩行者の乱横断が発生している
- 横断歩道を設置し渡れるようにしてほしい
- オタロードへ右折可能になると車の迂回は短距離で済む
- △ オタロードの人通りは多いため右折の車両も増加すると危険
性が高まることは懸念

④堺筋交差点

- △ パークス通り方面まで渋滞している
- 信号現示の工夫(堺筋の直進・左折)が必要

⑤荷捌き

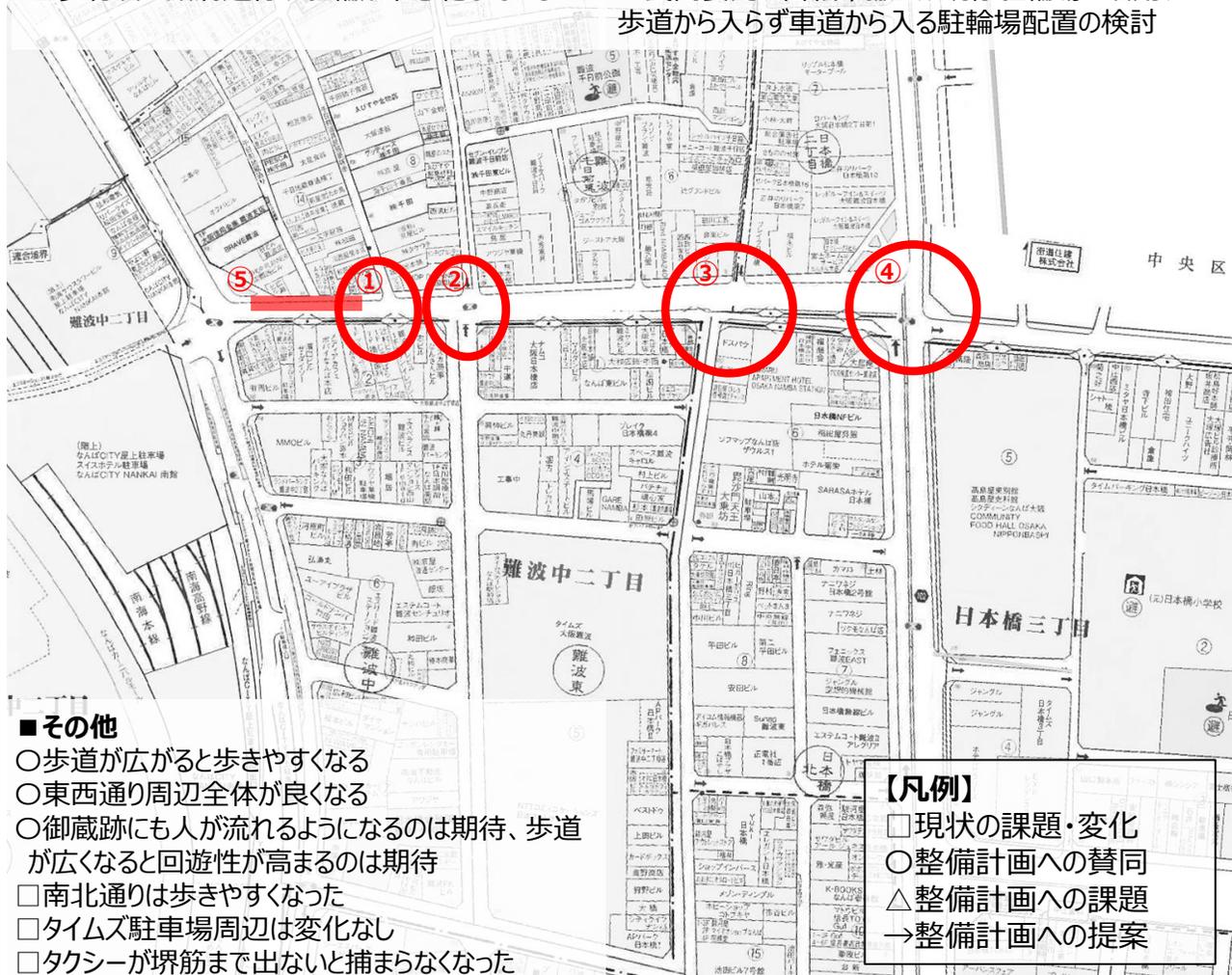
- 4台停車帯から溢れている時間がある
- タクシーや一般車が停車している時間がある
- 長時間停車が発生している
- △ 防止柵があると荷捌きができない
- 新たに荷捌き停車帯を設置するのではなく、
以前(4台停車帯運用前)と同じように、
東西全体で停車可能としてほしい
- 路駐されない独自の工夫が必要

■歩道

- 歩道が狭く電柱等があり歩きにくい
(北側は特に狭い)
- 歩行者の路肩通行や駐輪が常態化している

■自転車関連

- 歩道は通らず車道通行になるのが良い
- 駐輪対策が重要
- 民間委託の自転車撤去、既存駐輪場の活用、
歩道から入らず車道から入る駐輪場配置の検討



■その他

- 歩道が広がると歩きやすくなる
- 東西通り周辺全体が良くなる
- 御蔵跡にも人が流れるようになるのは期待、歩道
が広がると回遊性が高まるのは期待
- 南北通りは歩きやすくなった
- タイムズ駐車場周辺は変化なし
- タクシーが堺筋まで出ないと捕まらなくなった

【凡例】

- 現状の課題・変化
- 整備計画への賛同
- △ 整備計画への課題
- 整備計画への提案

2. 活動経緯 ③ニュースレター発行

6月ニュースレター発行（設立総会開催）

難波千日前日本橋ニュース

難波千日前日本橋
まちづくり協議会
2023.6

難波千日前日本橋まちづくり協議会設立総会を開催しました。

日時：2023年6月2日（16:00～17:30） 場所：河原センタービル大会議室（出席者（社）数：16）

なんさん東西部会では、2021年の10月より、なんさん東西通りの歩行者空間改善や東向き一方通行化に向け、部会を開催し、なんさん通り商店会役員、なんさん東西通り沿道地権者、1階テナントの皆様と議論をまいりました。途中では、影響範囲となる周辺の自治会、商店街の皆様にもご参加いただき意見交換を行っております。今年度4月14日に開催しました、第4回なんさん東西部会において、今後、難波千日前日本橋まちづくり協議会を設立し、一方通行化に伴う具体的な課題や影響について議論していく方針が承認されたことから、6月2日に協議会設立総会を開催しました。



総会の様子



会長 丹野修二氏 挨拶

■ 難波千日前日本橋まちづくり協議会設立総会 議案

以下の報告事項の確認後、全ての審議事項において全会一致で承認されました。

【報告事項】

難波千日前日本橋まちづくり協議会 設立趣旨について

【審議事項】

- ①難波千日前日本橋まちづくり協議会 2023年度事業計画案について
- ②難波千日前日本橋まちづくり協議会 規約案について
- ③役員選出について

役員選出については、会長は、元なんさん東西部会会長の丹野氏に担っていただく旨の提案があり、全会一致で承認されました。また、その他の役員については、丹野氏から以下の表に示す役員が指名されました。

会長	丹野 修二	なんさん東西部会 会長 なんさん通り商店会 副会長
副会長	佐々木 太郎	なんさん東西部会 副会長 なんさん通り商店会
会計	菊澤 豊	なんさん通り商店会 事務局長
会計監査	長谷川 清和	河原連合振興町会 会長
	田原 博	日本橋連合振興町会 会長
幹事	木村 次郎	なんさん通り商店会 会長
	木本 昌太郎	なんさん通り商店会 副会長

※敬称略



副会長 佐々木氏

会計 菊澤氏



会計監査 田原氏

幹事 木村氏



幹事 木本氏

※会計監査の長谷川氏は所用によりご欠席

意見交換・質疑応答

※→は事務局回答

- 一方通行化はいつ開始するのか。日本橋3交差点寄りの車道中央にあるボラードをなくしてもらいたい。

→実際は歩道拡幅工事が始まる段階で、一方通行化が開始する可能性があります。詳細は工事の工程とセットで決まります。一方通行化により南北を横断できることを目指しています。

- 協議会はいつまで継続するか、一方通行化が完了するまでか。なんさん通り商店会から毎年支出があることを想定すると、期限を決めたほうがよい。

→事業収支は単年度ごとを考えます。支出の大半が業務委託費で、本事業が進捗するために支払うものであり、2030年に事業が完了すればそれ以降は発生しないものです。業務を委託する内容も毎年変わるため、毎年250万円を支払うということではありません。

- なんさん通り商店会が費用を負担することになっているが、他の商店街や町会は負担しなくてよいのか。

→現時点では考えていません。なんさん通りが一方通行化のメリットを最も受けるため、なんさん通り商店会がコストを負担するのは当然と考えています。ただし、皆さんが負担してくださると言うならそれは妨げるものではありません。

- 協議会を何を検討するのか。交通プラン案とはどのようなイメージか。道幅や歩道の部材の提案まで含むのか。

→今後、大阪市が発注する交通コンサルタントから得たデータを用いて検討していくこととなりますが、荷捌き位置、横断歩道、道幅などについて、大阪市・警察の指摘と地元の想いが異なる場合があります。その際、望ましいプラン案を地元から提案し、地元の合意を取っていく必要があります。それを本協議会で検討していきます。歩道の舗装部材については、大阪市から地元の意向を聞かれる機会もあるとは思いますが、今回主に想定しているのは先述のような内容（荷捌き位置、横断歩道等）です。

- なんさん南北通り&広場については、歩道のイメージベースが示されている。なんさん東西通りの舗装もそれと同様か。

→なんさん南北通りの舗装と同様のものを東西でも使用してもらいたい旨を市に要望はできますが、初期費用は地元で負担するものではないため、最終的には大阪市が決定することになります。

- 街路灯については本協議会とは別という認識で良いか。

→街路灯については、なんさん通り商店会のものであるため、なんさん通り商店会で費用を負担し議論します。ただ、今回の一方通行化は地元の意向としてお願いして初めて行政が事業に着手してくれるものです。地域の皆さんの合意があることが必須条件で、本協議会はそのために必要な組織です。

■ 今後のスケジュール

一方通行化の整備は地元の合意が得られることが前提です。2023年度中に一方通行化について地元の合意が得られ、警察との協議も完了できれば、2024年度から基本設計、その後詳細設計、工事に進み、最遅で2030年度に完成するスケジュールが大阪市から提示されています。

年度	行程
	6月2日 協議会設立総会
2023	7月～ 関係者合意形成 ①まちづくり構想・一方通行化の地元合意 ②道路断面地元&警察合意
2024	基本設計
2025	電線共同溝詳細設計
2026	試掘着手
2030	本体工事着手 完成

【今後の予定】

協議会構成員のみならずを対象とした勉強会を開催し、一方通行化に伴う具体的な課題や影響についての意見交換を予定しております。別途、ご案内させていただきますのでよろしくお願いたします。

【発行】なんさん通り東西部会（事務局：なんさん通り商店会） 【制作】有限会社ハートビートプラン
【お問合せ先】 ☎ nansan1950@nansan.com (06-6648-8372)

2月ニュースレター発行（進捗状況報告）

難波千日前日本橋ニュース

難波千日前日本橋
まちづくり協議会
2024.1

難波千日前日本橋まちづくり協議会 勉強会を開催しました。

難波千日前日本橋まちづくり協議会では、昨年6月2日の設立総会后、なんさん東西通りの一方通行化に伴う影響把握として、協議会構成員を対象とした勉強会を下記の3回実施いたしました。

その後、3回の勉強会でみなさまのご意見を大阪市に伝達し、大阪市と、市から業務委託を受けている交通コンサルの方で整備プランの検討を進めております。10月30日には大阪市・交通コンサルを交えた協議会役員会を実施し、勉強会で出た課題等に関する意見交換や、浪速警察署との意見交換状況などを確認しました。

引き続き、大阪市と浪速警察署で意見交換が行われる予定です。その結果を踏まえ、大阪市と改めて意見交換を行い、再度地元としての案を検討していきたいと思っております。年度末には、協議会として大阪市に要望する整備プランを決める予定にしております。

一 勉強会実施実績 一

会議名	日時	場所
商店街勉強会	2023年7月18日	なんさん通り商店会事務所
日本橋連合振興町会長会議 日本橋地域活動協議会（合同会議）勉強会	2023年7月24日	日本橋連合会館
町会全体勉強会	2023年8月31日	河原センタービル大会議室

一 勉強会実施の様子 一



7/18商店会勉強会

7/24日本橋連合振興町会長会議

8/31町会全体勉強会



各会議での意見出し結果

【発行】 難波千日前日本橋まちづくり協議会（事務局：なんさん通り商店会）
【制作】 有限会社ハートビートプラン
【お問合せ先】 ☎ nansan1950@nansan.com (06-6648-8372)

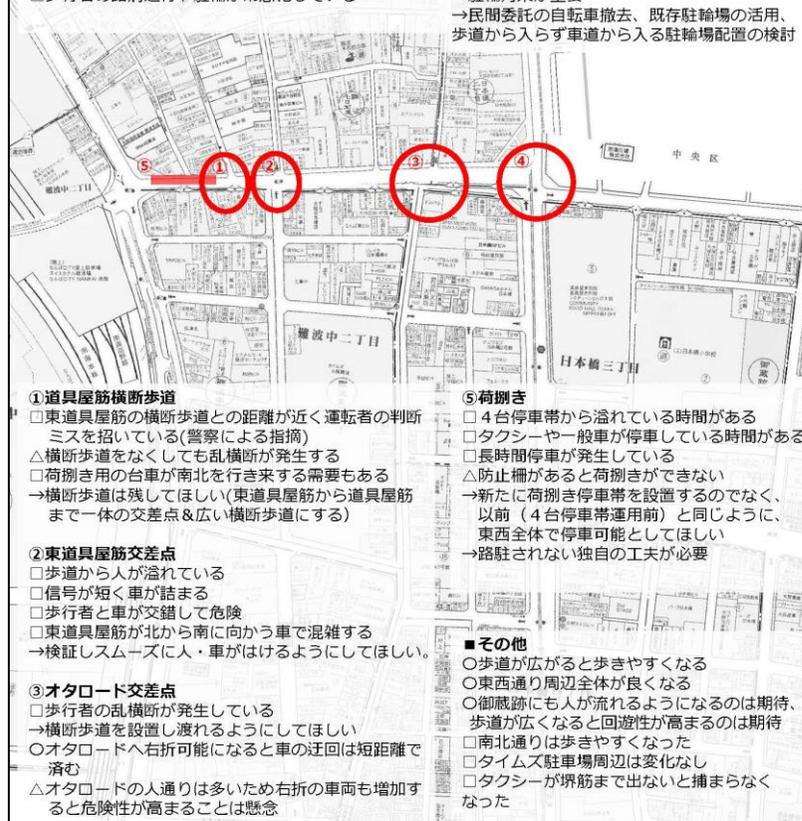
一 勉強会意見まとめ 一

■歩道

- 歩道が狭く電柱等があり歩きにくい(北側は特に狭い)
- 歩行者の路肩通行や駐輪が常態化している

■自転車関連

- 歩道は通らず車道通行になるのが良い
- 駐輪対策が重要
- 民間委託の自転車撤去、既存駐輪場の活用、歩道から入らず車道から入る駐輪場配置の検討



①道具屋筋横断歩道

- 道具屋筋の横断歩道との距離が近く運転者の判断ミスを招いている(警察による指摘)
- △横断歩道をなくしても乱横断が発生する
- 荷捌き用の台車が南北を行き来する需要もある
- 横断歩道は残してほしい(東道具屋筋から道具屋筋まで一体の交差点&広い横断歩道にする)

②東道具屋筋交差点

- 歩道から人が溢れている
- 信号が短く車が詰まる
- 歩行者と車が交錯して危険
- 東道具屋筋が北から南に向かう車で混雑する
- 検証しスムーズに人・車がはけるようにしてほしい。

③オタロード交差点

- 歩行者の乱横断が発生している
- 横断歩道を設置し渡れるようにしてほしい
- オタロードへ右折可能になると車の迂回は短距離で済む
- △オタロードの人通りは多いため右折の車両も増加すると危険性が高まることは懸念

④堺筋交差点

- △パークス通り方面まで渋滞している
- 信号現示の工夫（堺筋の直進・左折）が必要

⑤荷捌き

- 4台停車帯から溢れている時間がある
- タクシーや一般車が停車している時間がある
- 長時間停車が発生している
- △防止柵があると荷捌きができない
- 新たに荷捌き停車帯を設置するのでなく、以前（4台停車帯運用前）と同じように、東西全体で停車可能としてほしい
- 路駐されない独自の工夫が必要

■その他

- 歩道が広がると歩きやすくなる
- 東西通り周辺全体が良くなる
- 御蔵跡にも人が流れるようになるのは期待、歩道が広がると回遊性が高まるのは期待
- 南北通りは歩きやすくなった
- タイムズ駐車場周辺は変化なし
- タクシーが堺筋まで出ないと捕まらなくなった

【凡例】

- 現状の課題・変化
- 整備計画への賛同
- △整備計画への課題
- 整備計画への提案

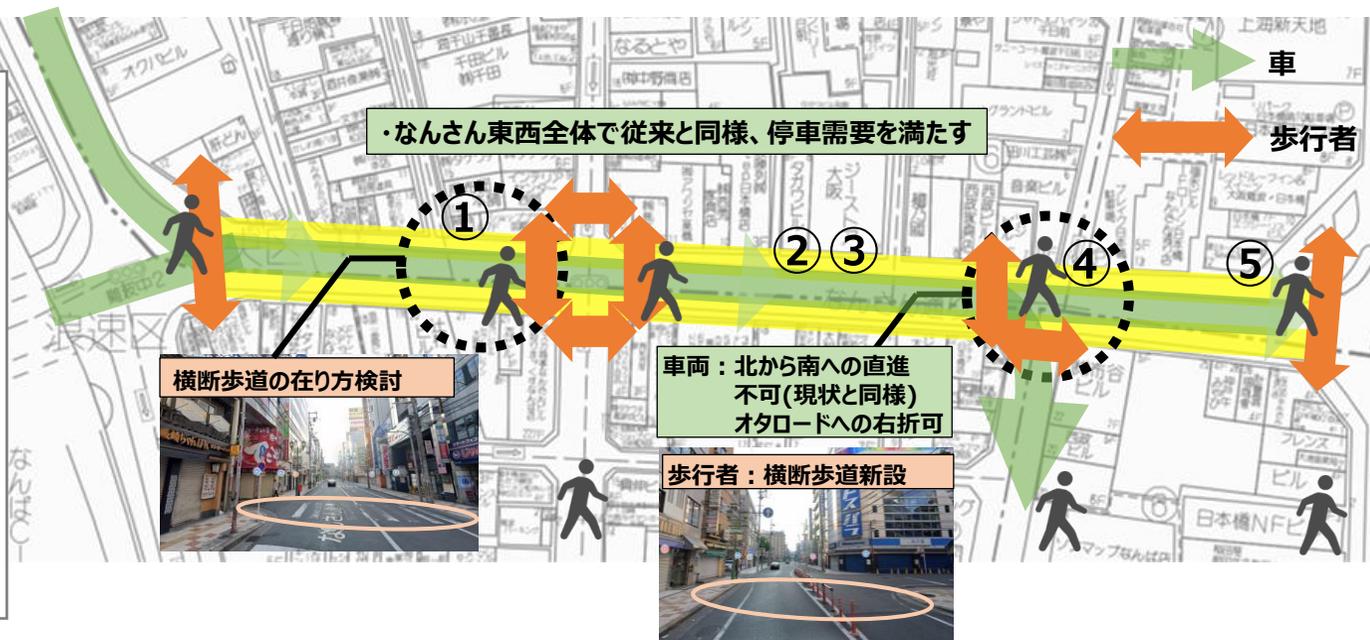
3. 協議会としての整備方針提案

協議会としてのなんさん東西通りの整備方針提案

勉強会での地元意見と大阪市との意見交換を踏まえ、協議会としての方針を提案します。この方針で地元合意ができれば大阪市に提案し、事業化を要望していきます。

基本的な考え方

- ・歩行者空間の拡大・回遊性向上
(歩道拡幅、電線地中化)
- ・歩行者の安全性向上
(交差点・横断歩道の改良)
- ・車両の寄り付きに配慮
(現在同様駐車禁止、南北のバランスに配慮)



① 道具屋筋・東道具屋筋交差点

- ・2つの南北横断機能を維持
(道具屋筋 & 東道具屋筋)
- ・現状の危険な状況を改善

ex. 道具屋筋横断歩道を残す
道具屋筋横断歩道をなくし東道具屋筋の横断歩道の幅員を西側に拡幅する 等
引き続き検討する

② 断面構成

- ・歩道拡幅、自歩道として4m以上確保
- ・荷捌きの安全性に配慮
- ・南北の車両寄り付きバランスに配慮

③ 自転車

- ・歩道を広く確保
- ・周辺との整合のため、自歩道とする
- ・車道も通行することを想定

④ オタロード交差点

- ・北から南への直進不可
(現状と同様)
- ・オタロードへの右折可
- ・南北横断歩道の設置

⑤ 日本橋3交差点

- ・車道を2車線化
(左折・直進左折)
- ・歩道の拡幅